

# 2015年9月17日チリの地震に関する 合成開口レーダー解析結果

2015年9月17日7:54（日本時間）にチリで発生した地震（Mw8.3、USGS）について、だいち2号のデータの解析を行った。得られた結果は以下のとおりである。

1. 震央の北 50–70km 付近の沿岸部を中心に、1m 以上の変動が検出された。
2. 東側上空からの観測では衛星から遠ざかる向き（図1）、西側上空からの観測では衛星に近づく向き（図2）の変動となっており、西向きの変動が支配的であると考えられる。
3. 断層の滑りの中心域は南緯 31° 付近と考えられる。この領域では 1943 年に M8.2 の地震が発生している。

※ 解析結果には電離層や対流圏等の影響による誤差が含まれている可能性がある

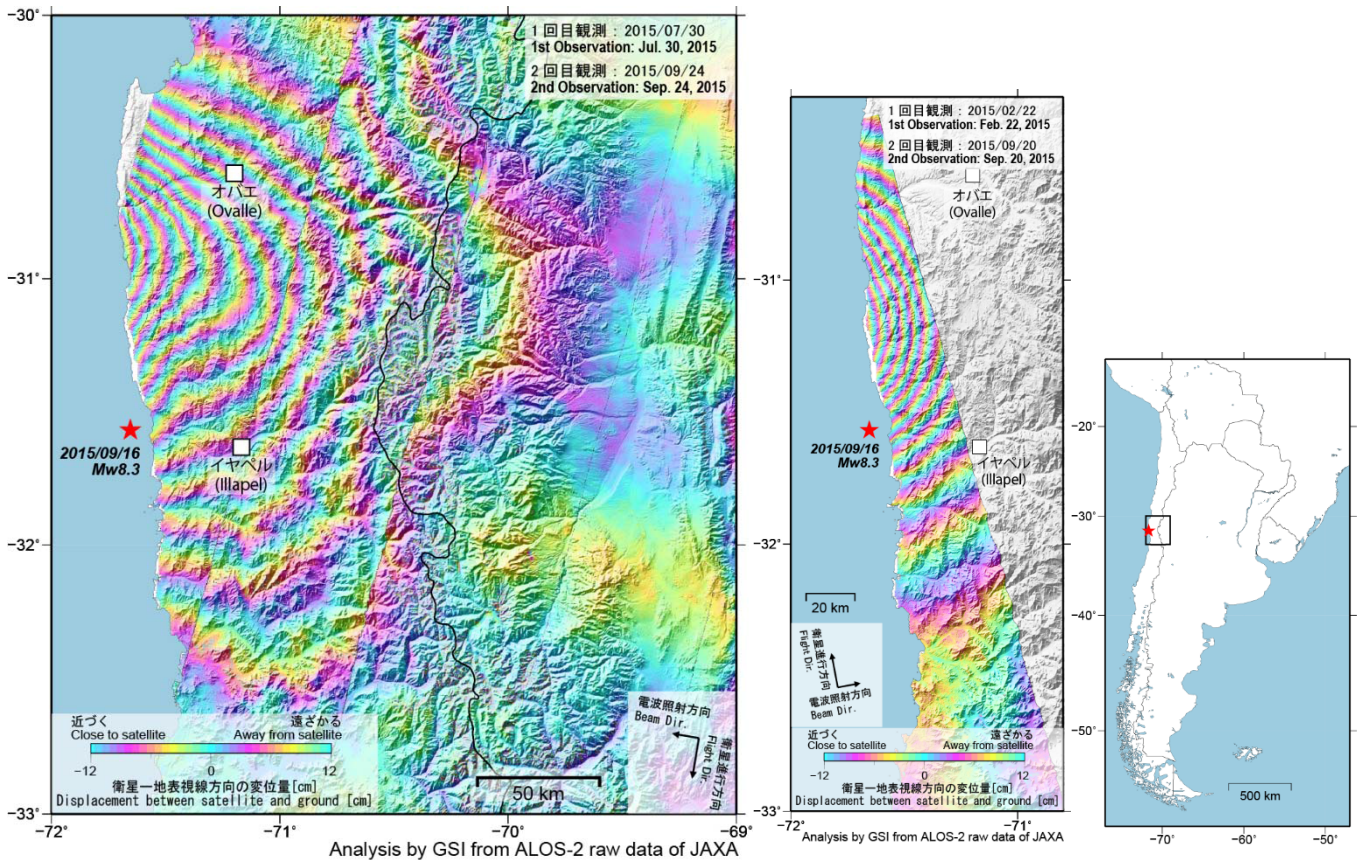


図 1

図 2

位置図

図	観測日	観測時間 (UTC)	衛星進行方向	電波照射方向	観測モード	入射角	垂直基線長
1	2015/07/30 2015/09/24	15:59 頃	南行	右	広域観測(Normal) 広域観測(Normal)	25°–45°	-214m
2	2015/02/22 2015/09/20	05:23 頃	北行	右	高分解能(10m) 高分解能(10m)	34°–39°	+163m

※震源位置 31.573°S, 71.674°W 深さ 22.4 km (USGS)

本成果は、地震予知連絡会 SAR 解析ワーキンググループの活動を通して得られたものである。